

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の令和6年度第4回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 令和7年2月13日（木） 14：00～15：30

開催場所 本庁15階 15C会議室

令和6年度第4回北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

令和6年度第4回北九州市入札等監視委員会

2 開催日時

開催日時 令和7年2月13日(木) 14:00～15:30

開催場所 本庁15階 15C会議室

3 出席委員(五十音順)

城戸 将江、古林 節子、中里 彰宏、樋上 弥寿子、森江 由美子

4 議事

(1) 令和6年度第3四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

(2) 令和6年度第3四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、令和6年度第3四半期に契約をした工事の中から、樋上委員が10件(契約課契約分8件、上下水道局契約分2件)を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 総合評価、一般競争入札による鋼構造物工事で、入札参加申込者2者のうち1者が失格又は取消となっているため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 若戸大橋(吊橋部)の塗装部分を補修する工事である。

若戸大橋は、供用開始から数十年経過しており、塗装が古くなっていることから、順次補修工事を行っている。

今回の工事は、戸畑側の海上部分における高所での作業であり、高度な技術や十分な安全対策などが工事施工上求められるため、技術提案を評価する総合評価落札方式、かつ2者による共同企業体方式を採用した。

参加申請は2つの共同企業体で、そのうち1者の代表者が設計図書等をダウンロードするという電子入札手順を遵守していなかったため入札無効で失格となり、1者による入札となった。

そのため、総合評価の比較対象者は無かったが、技術提案の評価は手順どおり行った上で、落札業者と決定した。

(問) 一般競争入札による土木工事で、入札参加業者数が少なく、落札率が高いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 橋梁の補修を行う工事である。

県の河川に架かる橋梁の補修であるため、県とのスケジュール調整が必要であることや雨期になると水位が上がって氾濫の危険がある河川であり、その時期を避けて短期間で施工することが求められる等、施工条件が厳しい工事であった。

西部地区の土木Bランク業者を対象としたところ、参加申請は8者であったが、2者が不参加、3者が辞退したため、3者による競争入札となった。

入札の結果、2者が最低制限価格を下回ったため失格となり、1番高い金額で入札した業者が落札業者となった。

(問) 一般競争入札による建築工事で、入札参加業者数が少なく、落札率が高いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 中学校の柔剣道場を改修する工事である。

市内の建築Aランク業者を対象としたところ、同時期に本体工事が行われているため当該工事を施工しにくいなどの理由で敬遠されたのか、参加申請は3者のみであった。

3者のうち2者が辞退したため、残る1者が落札業者となった。

(問) 一般競争入札による電気工事で、落札率が低いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 新築中の特別支援学校における受変電設備を追加で設置する工事である。市内の電気Aランクの業者を対象としたところ、参加申請は10者であったが1者が辞退し、9者による競争入札となった。

工事費用のうち直接工事費に占める機器費の割合が高いため、最低制限価格を設けなかったが、機器の調達については、日頃の取り扱いや流通ルートの有無等の差が仕入価格を左右することから、応札額にばらつきが出た。その結果、落札金額と予定価格の差が大きく、落札率が低くなったものである。

(問) 指名競争入札による港湾工事で、指名業者数が多く、落札率が高いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。

(答) 岸壁における係留装置を新設する工事である。

本件工事は、一度入札を実施したが応札者が無く、入札不調となった案件である。今回は市内の港湾工事の業者39者を指名したが、5者からは反応が無く、32者が辞退し、残る2者による競争入札となった。

落札率が高くなった理由として、港湾工事の中では比較的小規模な工事であったことから、多くの業者に敬遠された結果ではないかと考えている。

- (問) 指名競争入札による電気工事で、指名業者数が少なく、落札率が高いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。
- (答) 北九州モノレールの耐震補強工事に伴い信号機を移設する工事である。
信号機に係る工事については、確実かつ円滑な施工を実施する必要があることから、福岡県警察本部の指名資格を有する市内業者6者を選定した。
入札の結果、2者が最低制限価格を下回ったため失格となり、残る4者のうち最も低い金額で入札した業者が落札業者となった。
- (問) 指名競争入札による鋼構造物工事で、落札金額、落札率ともに高いため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。
- (答) 若戸大橋の連結部分における劣化した伸縮装置を取替える工事である。
市内の鋼構造物工事の業者のうち、施工実績が有る11者を指名したが、9者が辞退したため、残る2者による競争入札となった。
入札の結果、より低い金額で入札した業者が落札業者となったが、同規模の鋼構造物工事では、施工できる業者が少なく、今回のような小規模の工事では入札不調が続くなど落札率が高くなる傾向がある。
- (問) 指名競争入札によるしゅんせつ工事で、落札金額、落札率ともに高いため、詳しい状況について知りたく抽出した。
- (答) 船が停留する場所に溜まった海中の土泥を掘り起こす工事である。
一度指名競争入札を実施したところ、1者のみの応札で入札不調となったことから、予算を増額して再度入札を実施した案件である。
指名実績が無い業者や手持工事が有る業者を除く8社を指名したところ、1者が不参加、4者が辞退、1者が本件開札直前の案件を落札し取消となったため、残る2者による競争入札となった。
落札率が高くなった理由として、比較的小規模な工事にもかかわらず、船の出入りが多い場所で調整が必要なことから、多くの業者に入札を敬遠された結果ではないかと考えている。
- (問) 総合評価、一般競争入札による機械器具設置工事で、入札参加業者数が1者と少ないため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。
- (答) 浄化センターにおいて、水を浄化する微生物が入っている曝気槽の性能を上げて、処理能力を倍増させるという工事である。
大規模な機械設備の改築工事であり、新しい技術を採用するなどの計画性が求められる内容であったため、技術提案を評価する総合評価落札方式を採用した。
本件と同程度の規模の施工実績がある業者を募ったところ、全国的には、大手業者が5者程有り、これほど大規模な工事は全国的にも注目されることから多くの参加を期待していたが、参加申請は1者のみであった。そのため、

総合評価の比較対象者は無かったが、技術提案の評価に問題はなく落札業者と決定した。

- (問) 総合評価、指名競争入札による土木工事で、指名業者数77者のうち、67者が不参加・辞退となっているため、詳しい入札状況を知りたく抽出した。
- (答) 直径3メートルの下水道管の内部を約50メートルに亘って補強する工事である。工事場所は交通量の多い国道であり、夜間の交通規制が必要となるなど安全管理上の配慮が求められたため、技術提案を評価する総合評価落札方式を採用した。

管更生の工法資格を持つ技術者を有する77者を指名したところ、12社が不参加、55者が辞退したため、10者による競争入札となった。

落札業者の入札金額は3位、価格以外の評価点は1位であった。10者の入札金額の差は大きくなく、所定の手順に従い評価値を算出したところ、評価値で1位となった業者を落札者とした。